

# 平成 27 年の大阪経済

## －回復が減速した大阪経済－

商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）は、府内の経済動向について四半期ごとに『おおさか経済の動き』としてとりまとめています。このたび、平成 27 年の年間の経済動向を『平成 27 年の大阪経済の動き』として発行しました。その概要は以下のとおりです。

平成 27 年の大阪経済は、実質賃金の回復が遅れ、消費マインドが低調な下で消費は弱く、増加基調にあった輸出についても円安基調に変化がみられ年末にかけて減少に転じた。こうした状況の下で、生産は低調に推移した。消費や生産が弱い動きを示す下でも、住宅投資が下げ止まるとともに、設備投資や雇用が堅調に推移するなど、まだら模様の緩やかな改善となった。

### 【目次】

#### 要約

#### 第 1 章 回復が減速した大阪経済

1. 国内経済は緩やかな回復基調の下、支出面の改善に遅れ
2. 大阪経済は弱含みで推移
3. 需要は横ばいで推移
4. 生産は低調だが、雇用は堅調に推移
5. 企業活動の持ち直しは緩やか

#### 第 2 章 平成 27 年の経済動向

第 1 節 需要はインバウンド観光に支えられるも、内需は概ね弱い動き

1. 個人消費は足踏み
2. 住宅投資は持ち直している
3. 民間設備投資は持ち直し
4. 輸出額は増加、輸入額は減少し、貿易収支は改善
5. 観光は外国人旅行者が寄与し、需要は好調に推移

第 2 節 産業活動については、生産が低調な中で、雇用は堅調に推移

1. 生産活動は低調に推移
2. 雇用は改善傾向
3. 企業物価は低下するも消費者物価はやや上昇
4. 企業倒産件数は 6 年連続の減少

#### 第 3 章 平成 27 年の企業動向

第 1 節 一部に明るさも、回復のペースはきわめて緩やか

1. 企業の業況判断はきわめて緩やかな回復にとどまる
2. 営業利益は年前半からプラスに、資金繰りも緩やかな改善が続く
3. 雇用不足感が続く

第 2 節 中小企業の業況はやや一服感がみられるも緩やかな回復基調で推移

1. 出荷・売上高及び営業利益は緩やかな回復基調
2. 受注・販売は緩やかな回復傾向の中で一部に弱い動きがみられた

#### 主要経済指標